

Mademoiselle de Kobe

神戸のお嬢さん

まわりをなごめます安らぎ美人

近藤美香さん（ピアニスト）



みなと異人館にて 撮影／池田年夫

美香さんは神戸海星から大阪音大を卒業され、現在はピアニストとして活躍されています（ちなみに私達は親子ではありません）。

先日、日本が世界に誇る演奏家横山幸雄さんのリサイタルがピアジュリアンで開かれました。神戸の文化の発展を願い、クラシック音楽を生で提供しはじめて二年弱。国内のトップレベルを含め、四十名を超す演奏家たちが日替りに演奏をしてくれるようになりました。この演奏家たちのルーツは美香さんの広い人脈からスタートしたものです。彼女自身も「凄い人たちが気軽に集まってくれるようになった」と感激されています。彼女の知性と教養、そして明るさに乾杯！



推薦者 近藤英二
株式会社こんどう代表取締役

Mademoiselle de Kobe

神戸のお嬢さん

さわやかな風をはこぶ女性^{ひと}

雨宮歌奈子さん (株)ケーオーツー 営業企画部課長



六甲アイランドにて 撮影/米田英男



推薦者 岡田勝
(株)ケーオーツー代表取締役社長

広告宣伝・販売促進の企画制作をしております私共で、敏腕ディレクターとして営業から企画・コーディネートと大活躍してくれています。幼稚園の先生の経験もあり、子供好きで本当にやさしい性格です。

仕事柄、多業種の方との交流があるのですが、もしまえの頭の良さと、女性らしい心づかい、気配りでどんなお得意様からも評判が良く、社員からも厚い信頼をよせられています。

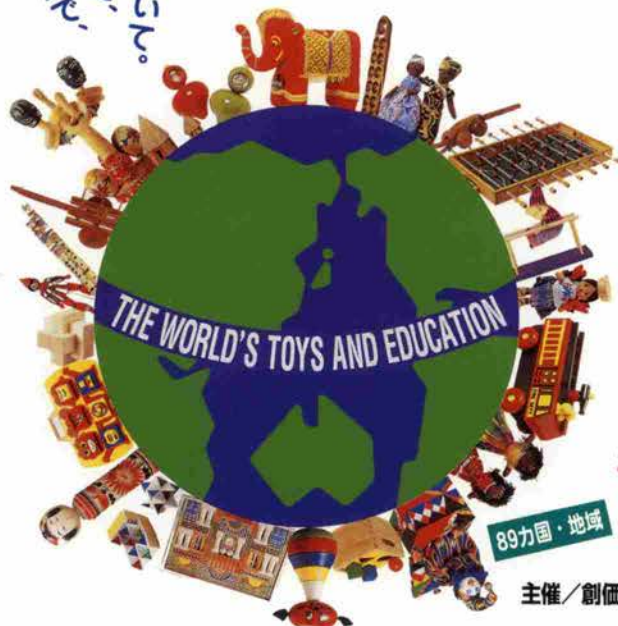
ご家族も、お母様の人柄の良さがにじみでた、あたたかみのある素晴らしいご家庭です。スポーツ・映画・音楽と趣味も広く、人として、男として、上司として、「いつもそばにいてほしい女性」と思える人です。

知り合える喜びを未来へ

世界のおもちゃと教育展

入場無料

かがやいて。
そだって、
あそんで、



89カ国・地域

地球の未来をになうのは、こどもです。
おもちゃとの触れ合いの中で、
こどもは優しさや思いやり、
人として生きることを学ぶのです。
そんな世界のおもちゃを、
一堂に集めてみました。
「世界のおもちゃと教育展」新鮮な体験が、
あなたを待っています。

⊗ そごう 神戸店
本館8階催会場

平成11年8月3日(火)～8日(日)
午前10時～午後7時30分

※ 但し、3日は正午から開場、8日は午後5時に閉場

主催/創価学会「世界のおもちゃと教育展」神戸展実行委員会

神戸まつり
～Kobe Seaside Bon Odori～
えうべ:海の盆踊り'99

11年8月21日(土) 16:00～21:30
神戸メリケンパーク広場

●ゲスト歌手の生演奏に誰でも踊れる盆踊り
●ふきこい(鳴子踊り)
●夏と秋の味覚を堪能できるお店
●MUSEE L'ART DE LA MER (海の美術館) - 海の美術館にふさわしいコンサート

※神戸市観光局「神戸市観光コンパス」より詳しくは、神戸市観光局までお問い合わせください。

◆24時間営業◆

もしもの時には…
まず、(株)神東社にご連絡ください。当社相談員が昼夜・遠近に関わらずご指定場所まで出張して、ご遺族の立場になってご奉仕申し上げます。

人生最後のセレモニーを
お世話させていただきま
す。
密葬儀から社葬式によるお見送りまで
責任をもって施工致します。

((メモリアルサービス))
インフォメーション

<http://www.n-city.co.jp/shintosya>

インターネットでの情報サービスを行っています。
・おわかりにならないことがありましたら、お気軽に弊社へお問い合わせください。

ヒューマン・ライフ
Human Life

信頼の輪を拓ける。
株式会社 神東社

〒651-0067 神戸市中央区神若通2丁目2番6号

☎078 (222) 2222

■支店

☎078 (928) 3233

葬儀会館

■神東会館1階

■神東会館2階

■出張所

☎078 (371) 9726

☎078-222-4267 (きく)

☎078-221-3424 (ききょう)

☎078-222-4770 (ゆり)

※ 上記以外にも集会所・寺院等の式場もお世話いたします。

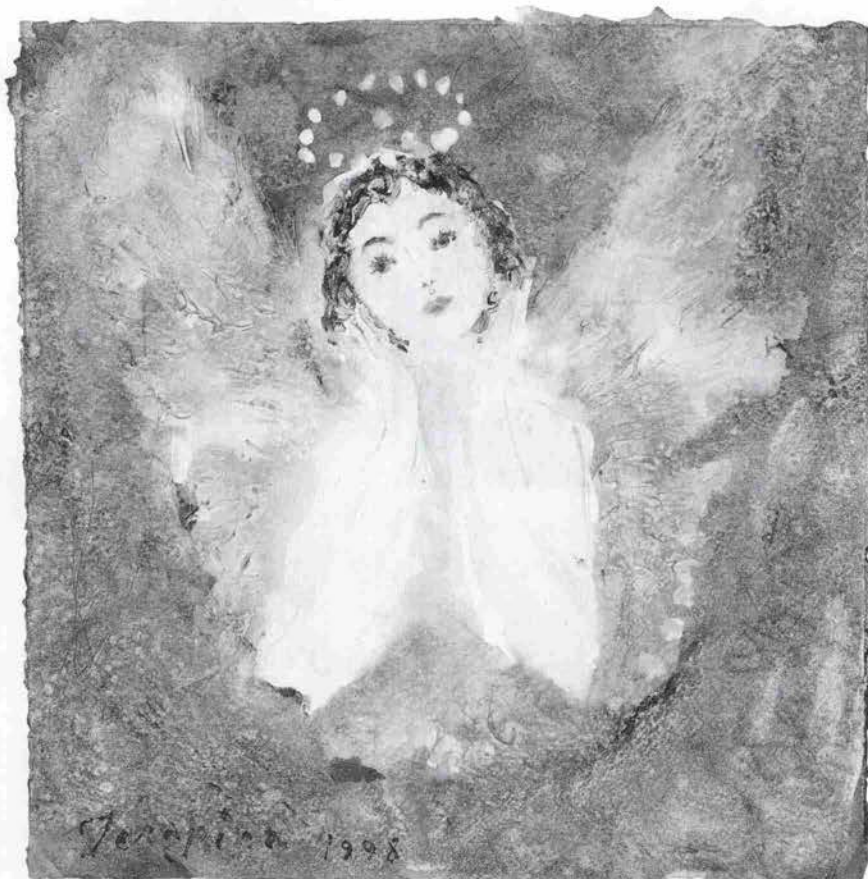
神戸市規格葬儀取扱指定店組合加盟



神戸百店会

暑中お見舞い申し上げます

1999年 盛夏



絵/寺門孝之

神戸のハイセンスな専門店でお買い物を！

 <p>今啓パール株式会社</p> <p>本社 神戸市中央区山本通2-6-15パールビル TEL.078-242-3399 (代)</p> <p>ショールーム TEL.078-242-7380 (代)</p>	<p>HAIR&FACE Elizabeth</p> <p>株式会社 美容室 エリザベス</p> <p>本店 神戸市中央区三宮町2-6-4三上ビル3F TEL.078-331-8894 FAX.078-331-4917</p> <p>住吉店 神戸市東灘区住吉本町2-10-42 TEL.078-851-6388 FAX.078-822-6013</p> <p>レンタルブティック Elle (本店) 階上TEL.078-331-3258</p>	<p>MORI Pearls Co., Ltd.</p> <p>森真珠 株式会社</p> <p>代表取締役 森 智雄</p> <p>本社 神戸市中央区二宮町1-4-15 TEL.078-241-2125 (代)</p> <p>本社ショールーム TEL.078-222-5881 (代)</p> <p>オーバ店 神戸市中央区北野町1 JR神戸駅口3F TEL.078-262-2858 (代)・2859</p>
<p>●TOTAL INTERIOR HOUSE●</p>  <p>インテリア イリフネ</p> <p>神戸市灘区新在家北町1-1-19 KOIZUMI PLAZA内 TEL.078-851-2841</p>	<p>喜びと感動の創造</p> <p>三宮写真室</p> <p>本社 神戸市中央区二宮町2-10-7扇都東ビル2F Phone.078-241-5547 Fax.078-241-5717</p> <p>北野スタジオ 神戸市中央区中山手通2-24-8 Phone.078-241-5530 Fax.078-222-4127</p>	<p>We Serve The Best Quality.</p> <p>私たちは、最高の品質を提供します。</p> <p>株式会社 W&A</p> <p>神戸市東灘区田中町3-19-14 TEL.078-441-2041 FAX.078-441-5858</p>

人間みな仲間

古澤峯子

（神戸日豪協会副会長）



私もこの世に生きている者はみな仲間です。共生とか地球人とかの言葉を待たずともなく、誰とでも挨拶をし、相手の親切に対しては「ありがとう」を言い、また席を譲り合うことは、人間にとって一番大切な心の豊かさの具体的な形であって、しかも、いまだに言葉にすることが恥ずかしいほど、当たり前のことですが、なぜか、日本の社会にはこのことが育ちませんでした。知らない人に対しては、見向きもしないという習性が身についています。私自身、このことに対して何の疑問も持ちませんでした。

一九六五年八月、ある会議に出席のため訪豪。オーストラリアの人たちの温かい人間関係に驚き、魅了されました。

まず、通りを歩いていて、目があれば、知らない人でもニッコリと挨拶をしてくださいます。日本語教師として、大学勤務中はバス通勤でしたが、バス停まで歩いていきますと、通りがかった車が停まって「お乗りなさい」とおっしゃってください。大学の廊下を教材のプリントを抱えて歩いていきますと、通りがかった方が、そのプリントの山をサーッと引き取って教室まで持って行ってくくださる、などなど、他への配慮の行き届いていることに

感動いたしました。と同時に、日本人もこうならなければならないと思いました。そのために全日本人にオーストラリアに行ってもらいたいと思いました。私自身、この実状を本で読んだり、話として聞いたのでは、本当に理解できなかったと思います。

アメリカのフルブライトはこんなふうにおっしゃっています。

「本来なら、全アメリカ人に一度異文化の地に行ってもらいたいのだが、それが不可能だから、外国から学生を受け入れる制度を作った」と。

同じ思いで、私も一九六九年、帰国し、神戸日豪協会を創設しました。若い人たちの交流の場を作るためです。

当協会初代会長、元兵庫県知事阪本勝氏が訪豪後に書かれた「豪州人間美学」を紹介します。

人生とは自分が生きることではない。人生とは人と人との間に存在する一種のかぐわしい現象である。こう思った瞬間、私は豪州好きになつていった。

「ああ、どこから湧いてくるのか、頼みもせぬのに示してくるあの行き届いた親切の泉」。

STEP GLOBALLY STEP NATURALLY

地球を歩く

自然に歩く

STEP COMFORTABLY

快適に歩く



ヘルスシューズを専門に15年



「健康靴に関するトータルなサービスを提供している株式会社アリスは、おかげさまで、今年で15年目を迎えます。整形外科靴マイスターと経験豊かなスタッフが、お客さまの足の悩みに専門的に取り組んでいます。ご好評のブランドとデザインを豊富に取り揃えておりますので、是非一度ご来店ください。」

代表取締役社長 アリス・クリスチャンス

Japan's Premier Health-Shoe Specialist

高級健康靴と関連資材輸入・機材輸入

 アリス

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通り5-6-6
TEL:078-382-2101 FAX:078-382-2150
営業時間:10:30a.m.~6:30p.m.年中無休

酔眼流旅日記 〈36〉

お返しのおむずかしさ

村松 友視

題字も

イラスト／灘本唯人

ある日あるときある店で、あるすごい酒を飲ませてもらった。その店は、ジャンルでいえば鮭屋なのだが、魚をこよなく愛する親方を出す奇天烈な「食べ物」が、料理法も味も尋常のレベルでなく、「料理」というよりは魚を知り尽したあげくの「腑分け」といった趣きのものを出してくるのだ。

たとえば、石ガレイの胆汁を塩にして三年ねかせ、塩と分離して結晶体のようなになった若草色の胆汁を、爪楊枝の先に引っかけるようにして舐めるやつとか、イカの眼球を支える筋肉とか、真ガレイの脳ミソとか、アナゴの胆の胃詰めとか、サンマの椎間板などを出す……とにかくふつうの鮭屋、いや魚料理を出す店とは、まったくちがう流儀の、しかしれっきとした鮭屋なのだ。

この店で食べた、マグロの Teppa (背骨に近いあたりの赤身) に、ほんの少しの塩をパラリと降り落したのなんぞを食べたときは、ほとんどカルチャー・ショックをおぼえたものだった。また、同じマグロのトロの上に、細かく刻んだ(すったのでは

駄目) ニンニクをちよびつと置き、そこへさらにちよびりの塩を添えたのを食べさせられたときもまた、醤油の邪魔をされずに初めてトロと向き合った気分を与えられた。

こんなメニューが次々と出てくるものだから、私の頭にいつしか「奇天烈な店」なるタイトルが浮かび、この店を舞台にした大人のユーモア小説を書いてみようという、秘かなる思いが宿った。しかし、ご多聞にもれずこういう店には、時にきびしい、そんじょそこいらのものに飽きたという風情のご常連客がいて、世間に店を紹介したりしたら爪はじきにされそうな気配が、やはりただよっていた。

ならば、町の名も店の名も伏せて、フィクションとして書けばどうだろうと、びくつきながらも私の中の、物書きの性根が頭をもたげてきた。そして、その性根というやつがまたかなりしたたかで、私はついにこの店を舞台とした小説をある雑誌に連載したあげく、単行本まで出してしまった。題して「奇天烈な店」……印象のまんまというありさまである。



こういう、凝りに凝った店にはそれにふさわしい客が多く、複雑きわまらないインテリや、漁師しか信用しない園医者などが常連となっていたが、意外にも私の連載小説に対してやさしい気持で読んでくれた。そして、たまには自分がいま好んで飲んでいる日本酒などを、ふるまってもらったりもした。

私は、味が分るタイプでもないのに、こんな小説を書いていることに、どこかしろめたさを感じていたのだが、おいしい日本酒をご馳走になったりすると、私なりにお返しをしなければという、これまたよく考えれば図々しい思いが湧いてくるのを禁じ得なかった。そして、とりあえず自分の知識の中の極上品を選んで手に入れ、偶然みたいなふりをして、ご常連の酒宴に供したりした。

ところが、このご常連の飲む酒なんてのは、酒蔵のおやじとのつき合いの中から、非売品の何々といったレベルで、市販されている酒の中で選んでいる私などとは、プロとアマとの差があった。にもかかわらず、ご常連たちはごく自然に私が持つて行った酒をほめてくれ、私に恥をかかせないよう心遣いをしてくれた。

考えてみれば、どんな酒であれこの店の中では脇役、とうてい主役というわけにはいかないのだ。その雰囲気の中でおいしい酒のお返しをするなんぞという感覚は、大事を知らず小事にはしる輩の気の弾みというわけで、ゆつたりと受け入れてくれたご常連の凄みを感じるしかなかった。

年に何度か、グルメ・ブームなんて屁みたいなものと思うことがあるが、この「奇天烈な店」に足を運んだときと、おおむねかさなっているなど気づいた。いや、世間は広く、狭い店からのぞく世界は広いというわけでありませう。

第23回／'99年度 受賞者発表

井植文化賞

戦後、日本の復興と繁栄に大きな足跡を残した三洋電機株式会社の創設者、故井植歳男氏の遺志により、昭和44年11月に「財団法人井植記念会」が設立されました。同会は、兵庫県在住、またはゆかりのある個人、あるいは団体で、それぞれの分野で目覚ましい活躍をされたり、多大な貢献をされた方(団体)の功績

を讃え、地域社会のよりいっそうの発展に寄与したいと、昭和52年に「井植文化賞」を制定しました。

第23回のことしの6部門の受賞者は、選考の結果、次のとおりに決定しました。受賞者にはライオンのブロンズ像と、副賞として賞金(個人30万円、団体50万円)が贈られます。



■文化芸術部門
鈴木 雅明
〈指揮者、オルガン・チェンバロ奏者〉

●選考委員
小石 忠男
響 敏也
大村 治郎



■科学技術部門
上坪 宏道
〈副高輝度光科学研究センター理事
放射線光科学研究所所長〉

●選考委員
石山 靖男
北村 新三
加藤 征史郎
山村 博平

主催・財団法人井植記念会

財団法人井植記念会（井植貞雄理事長）は、本年、創立30周年を迎えました。これを記念して、来る十月九日（土）に、井植記念館で三十周年記念式典が行われます。また、このときに第23回井植文化賞の表彰式も予定されています。

平成十一年十月九日（土）午前十一時～正午 第23回井植文化賞表彰式

午後十二時三十分～二時（勸井植記念会30周年記念式典）
記念式典では、井植文化賞をはじめ同財団が手がける事業が紹介されます。

■（勸）井植記念会
神戸市垂水区青山台1・21・1
TEL 078・751・5216



■報道出版部門
震災復興番組
「復興'99」
NHK神戸放送局制作・田村泰崇

●選考委員
山口一史
小林幹彦
上羽慶市



■社会福祉部門
ボランティアグループ
「やすらぎ」
代表 秋本菊江

●選考委員
野上文夫
津田元
橋本明



■国際交流部門
藤岡 重司
（財）兵庫県海外同友会事務理事

●選考委員
新野 幸次郎
宇都宮 浩
住野 和子



■地域活動部門
宝塚NPOセンター
事務局長 森綾子

●選考委員
小笠原 暁
小室 豊允
林 五和夫

第23回 井植文化賞

文化芸術部門

バロックの宗教作品を理想的に上演

鈴木 雅明



バッハ・コレギウム・ジャパンで指揮を執る鈴木雅明 © K. Miura

●選考委員
小石 忠男
〈音楽評論家〉

響 敏也
〈音楽評論家〉

大村 治郎
〈朝日新聞学芸部記者〉

朝日新聞学芸部記者

バロック楽団と合唱団からなるバッハ・コレギウム・ジャパンを率いて、バッハの最高傑作「マタイ受難曲」を実に見事に演奏した（四月一日、ザ・シンフォニーホール）。キリストの受難の物語を音楽化したこの作品を劇的に感銘深く聴かせた。思わず涙を流す聴衆も見られた。

神戸市出身の鈴木雅明さんは、一九八五年から神戸松蔭女子学院チャペルで定期的にバッハのカンタータシリーズを演奏してきたバッハ・コレギウム神戸と松蔭室内合唱団を九〇年、バッハ・コレギウム・ジャパンに改組。バッハを中心とするバロックの宗教作品を理想的に上演し、普及させた功績は大きい。

一月にはイスラエルでも公演。演奏を聴いたイスラエルの音楽評論家は「日本人がこんなにすごい演奏をするとは」と、いすから駆け落ちるほど感動したという。

神戸発の世界的な演奏団体を鈴木さんがさらに発展させてくれることを願ってやまない。

〈大村治郎〉

■選考経過

文化芸術部門は美術、文学、音楽が毎年交替制で選考が行われ、今回は音楽。

復興の象徴として、今年オープンした神戸こくさいホールに対しては、どのようなプログラムをこれから提供していくか、今後の活動内容に期待が寄せられた。その他には今年の二月に本名徹次を指揮に迎えた魔笛で好評を博した神戸オペラ協会や、オペラのオーケストラでも着実にその才能を発揮しているピアノストの小槻由美子、シューベルトの歌曲をすべて歌う快挙を成し遂げたテノールの畑儀文などの活動に注目が集まった。

最終的には神戸出身の鈴木雅明の名が挙がった。現在、東京芸術大学助教授、神戸松蔭女子学院大学講師として教鞭を取りながら、バロック音楽と合唱のバッハ・コレギウム・ジャパンをまとめ、国際的にも精力的なその活動には高い称賛の声が集まる。今年の一月にはイスラエルでの公演を行い、現地で絶賛を浴びたその功績に対して、全員一致で受賞が決定した。

●受賞者メモリアル

- | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|---------------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------------|-------------|----------|------------|
| 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 青木はるみ（詩人） | 神戸難ライオンズクラブ | 山沢栄子（写真家） | 延原武春（指揮者） | 安水裕和（詩人） | 昇 外義（画家） | 田原富子（ピアニスト） | 多田智満子（詩人） | 荒木高子（陶芸家） | 横井和子（ピアニスト） | 山田幸平（作家） | 河口龍夫（現代美術） |
| 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | | |
| 植松達二（彫刻家） | 佐伯敏光（作家） | 甲南高等学校貴志康一記念堂 | 鈴木 漢（詩人） | 大前 哲（作曲家） | 光安義光（建築家） | 宇江敏勝（作家） | 菅沼 潤（演出家） | 今竹七郎（グラフィックデザイナー） | | | |

第23回 井植文化賞 科学技術部門

スプリング エイト

「Spring-8」の建設と研究に貢献

上坪 宏道



大型放射光施設Spring-8

●選考委員

石山 靖男

(神戸新聞編集局長)

北村 新三

(神戸大学工学部長)

加藤 征史郎

(神戸大学農学部部長)

山村 博平

(神戸大学医学部長)

播磨科学公園都市に世界最大の大型放射線光施設が建設され、兵庫県から世界に向かって貴重な情報が発信されつつある。「Spring」とは「Super Photon ring」の略称、8とはそのエネルギーが八十億電子ボルトという意味であるが、高速に近いスピードまで加速された電子を磁石によって進行方向を曲げると、強い光を出す。これが放射光である。

今回の受賞者は、この国家的事業の推進を行ってきた上坪宏道氏に決定した。理科学研究所における研究の実績をもとに昭和六十三年以来、播磨で「Spring-8」の開発・建設のリーダーとして中心的役割を果たす。その結果、平成九年三月、初実験に成功。この施設は単に学問的真理の探究のみでなく、和歌山ヒ素事件の極微量の物質分析のように我々の社会生活においてもその重要性が認められつつある。同氏の指導によりこれから世界的な研究成果が続々と生み出されることだろう。

(北村新三)

■選考経過

今回の候補者は工学分野からは大型放射光施設「Spring-8」を所有する高輝度光科学研究センター理事の上坪宏道。農学分野からは生物化学の愛蘭泰生が昨年、一昨年に続き三度目の推薦となった。医学分野からは体内時計と言われる生体リズム研究で昨年目立った活躍のあった岡村均、長年の法医学研究が評価された藤原美定、龍野嘉紹。

とくに今回は、ここ数年の選考でも毎回話題になっていた「Spring-8」が本格的に起動し、昨年の和歌山ヒ素事件においてもその性能を発揮していることなどが評価され、上坪宏道の受賞となった。

なお、本部門の選考対象に関して農学、医学、工学のほかは理学分野からの候補者を加える必要性が指摘された。ただ、本部門は科学技術のなかでもとりわけ「応用技術」に視点をおいて選考が進められてきた傾向があり、その意味で今回の受賞は時宜を得たものといえよう。

●受賞者メモリアル

- | | | | |
|----|--------------------|----|------------------|
| 1 | 櫻井春輔 (岩盤力学) | 13 | 田中千賀子 (薬理学) |
| 2 | 杉山武敏 (遺伝子学) | 14 | 安田武司 (熱帯有用植物学) |
| 3 | 土田広信 (農芸化学) | 15 | 廣畑和志 (整形外科学) |
| 4 | 嶋田勝次 (都市計画・建築学) | 16 | 神島安啓 (応用化学) |
| 5 | 沢村誠志 (障害者の社会復帰) | 17 | 加藤征史郎 (生殖生物学) |
| 6 | 安藤四一 (音響の研究) | 18 | 天津睦雄 (耳鼻咽喉科学) |
| 7 | 辻 莊一 (家畜育種学) | 19 | 山本恵一 (電子工学) |
| 8 | 西塚泰美 (生理学) | 20 | 眞山滋志 (バイオテクノロジー) |
| 9 | 中岡睦雄 (バイオエレクトロニクス) | 21 | 水野耕作 (整形外科学) |
| 10 | 清水 晃 (微生物生態学) | 22 | 森脇俊道 (精密工学) |
| 11 | 岡田安弘 (脳機能生理学) | | |
| 12 | 賀谷伸幸 (計測工学) | | |

いつでも気軽に外出のお手伝い
ボランティアアグループ「やすらぎ」

〈家庭養護促進協会事務局長



タクシー会社での、障害者や高齢者へ対応するための講習会

主な活動内容は、外出や通院通学介助、障害者の訓練介助、福祉施設等の行事協力、友愛訪問、身近生活介助などである。特に大震災後は、学校や企業、地域団体からの依頼で車イス・アイマスク体験学習への講師派遣も増え、一般市民を対象とする活動へと発展している。グループ代表の秋本菊江さんは「私たちのグループ構成のように、学生から高齢者まで、さらに神戸在住の外国人をふくめて誰でも気軽にボランティア活動ができる場づくりへと広がっていきたい」と将来の夢を語っている。活動十一年目を迎えて、介護保険ではできない市民の日常生活支援をさらに広げ、神戸に福祉文化を根づかせる活動を続けている。

〈野上文夫〉

野上文夫

そのほか、新たに候補に挙がったのは、ボランテ
ィアグループやすらぎ、知的なハンディを持つ子ど
もの親の会である神戸市手をつなぐ育成会(みどり
会)、二十年間の活動が評価された識字学級のあゆ
み教室などの団体、グループ。また、国際交流の面
からも評価の高かったアジア各地に保育園を設立し
ている学が丘幼稚園の箕浦志保子、医療分野からは
終末医療(ホスピス)にたずさわる河野博臣らの活
動も注目された。

最終的には、地元神戸に根づく福祉を目的として地道に活動を続け、今年十一年目を迎えたやすらぎに今回の受賞が決定した。

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エリア会	山本博繁	浦井安太郎	実施委員会	神戸東部地域入浴サービス	米田寛子	神戸大学看護ボランティア	富永繁男	春本幸子	神戸市立友生養護学校	福来四郎
22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
鈴木都	神戸新聞厚生事業団	神戸ライフ・ケア協会	楽団あぶあぶあ	橋崎茂登子	ボランティヤグループほほえみ	K O B E 在宅ケア	点訳ボランティヤグループ連絡会	賀川記念館	兵庫のちの電話	誕生日ありがとう運動

第23回 井植文化賞

地域活動部門

市民の手で市民活動を支える

宝塚NPOセンター



市民活動団体との相談業務

●選考委員

小笠原 暁

学術博士

小室 豊允

姫路獨協大学学長

林 五和夫

ふるさとひょうご創生塾塾長

阪神大震災から早くも四年余りの歳月が流れたが、あの時に燃え上がったボランティア精神の炎が近頃では何故か小さくなりつつあるように感じられてならない。しかし、その中にあって市民の手で市民活動を支えるために自主性・独立性のある着実な歩みを続けているのが「宝塚NPOセンター」である。その素地は五年前に開かれた「ボランティアフェスティバル」において市内のボランティア団体が一堂に会し、互いの連帯と活動の発展を誓い合ったことに始まる。大震災を経てボランティア・ネットワークの必要性に対する認識が一層強まり、震災直後からNPOセンター設立に向けての動きが活発化して、昨年一月フェスティバル実行委員会を発起人としてセンター設立を宣言、爾来、福祉のみならず、芸術・文化・教育・環境などさまざまな分野での市民活動のための人材育成、NPO立ち上げへの支援・助言等、積極的かつ具体的な活動を展開し、法人格取得を目指している。

〈小室 豊允〉

■選考経過

ユニークな地域活動が増える中、今年オーブン一年を迎える北野工房のまちが候補に挙げられた。廃校になった小学校をそのまま利用した工房に、その話題性や町おこしのモデルとしての評価は高かった。

また、持続的に地域に密着したボランティア活動をおこなっている組織として、さまざまな理由で親と暮らせない子供たちを一般家庭が預かり育てる里親運動を展開している家庭養護促進協会の名前も挙げられた。宝塚NPOセンターは、市民活動団体を支援するNPO（民間非営利団体）である。ボランティア活動に留まらず、芸術・文化・教育・環境など生活のさまざまな分野において、これまで行政まかせにできたまちづくりを「自分の住む街は自分の手でよりよくしよう」として活動する市民団体の支援を継続してきた点が評価され、受賞に至った。

●受賞者メモリアル

- | | | | |
|----|---------------|----|-----------------|
| 1 | 城崎郡日高町 | 13 | ブナを植える会 |
| 2 | 明石市民のコミュニティ活動 | 14 | 松島興治郎 |
| 3 | 一宮町文化協会 | 15 | 山村留智制度 |
| 4 | 尼崎郷土史研究会 | 16 | 山村硝子株式会社 |
| 5 | 尼崎南部地区自治連合協議会 | 17 | (社)淡路青年会議所 |
| 6 | 月刊神戸つ子 | 18 | 保健医療福祉ICカードシステム |
| 7 | 明延ふるさとづくりの会 | 19 | 情報センター |
| 8 | KICS | 20 | 洋菓子KOBÉ展 |
| 9 | 丸山地区住民自治協議会 | 21 | 戸谷 松司 |
| 10 | アンドレ・ブリュネ | 22 | 中西 通 |
| 11 | 神戸新聞文化センター | | |
| 12 | 尼崎市演劇連絡協議会 | | |

第23回 井植文化賞

報道出版部門

街と心の復興を様々な視点で捉えつづけた

NHK神戸放送局制作
震災復興番組 「復興'99」

●選考委員

山口一史

ラジオ関西代表取締役社長

小林幹彦

NHK神戸放送局長

上羽慶市

神戸新聞社編集委員長



'95年の2月頃、震災直後の取材風景。中央区にあった仮設のNHK神戸放送局前にて



日曜日の朝の顔。キャスターの田村泰崇氏（写真右）と山田美鈴さん

震災後から足かけ五年間、放送しつづけているNHK神戸放送局のローカル・テレビ放送「復興'99」が受賞の栄に浴した。

「復興'99」は、震災の年「がんばろや! 阪神・淡路」というタイトルでスタートし、その後「復興'98」「復興'99」とタイトルを変え現在

に至っている、ローカル番組としては珍しい長寿番組である。この番組のテーマは、被災した地域をディレクターや記者、アナウンサー、報道カメラマンが職種上のそれぞれの視点を生かしてきめ細やかに「街の復興ぶり」「被災者の悩み」「行政の取り組み」を発掘しつづける番組

にしているものである。放送本数は六月末現在で百六十二本、「街の復興」「心の復興」「経済の復興」「被災者・有識者の声」などなどテーマは多岐にわたっている。高齢化がすすむ大都市の直下型地震から不幸にも得た様々な教訓を今後放送を通じて風化させない一助にしたいと考えている。

最後に、審査委員から出た、特集編で全国発信をとく放送時間帯の工夫をとの注文を肝に銘じてこれからもローカル放送局の役割を果たしていきたい。

〈小林幹彦〉

■選考経過

出版では、古代から現在に至る淡路島出身の偉人を紹介し、淡路史といえるまでに仕上げた田村昭治著『ここに人あり』や花隈の老舗料亭「松廬家」の女将四代奮闘記であるウドノ葉子著『ああ、万事塞翁がお・ん・な』（文園社）、(株)アロードまちづくりコーポレーションが制作した「TOR ROAD STYLE BOOK」(水田裕子「Wアソシエイツ」)編著、神戸新聞出版センターが候補に。また、計十七人の記者とカメラマンが街を徹底的に歩き、復興に汗する市民の姿を記した「ネオ・クラシックな街―神戸歩いて百景」(神戸新聞社編)は街と共に歩む地元紙らしい取り組みが高く評価された。

しかし、最終的には放送での「復興'99」(NHK神戸放送局)が、「がんばろや! 阪神・淡路」としてスタートして以来、五年の節目にあたること、見えにくくなった震災の姿をより深く様々な角度から捉え市民の支えになったと評価され、今後の期待も込めての受賞となった。

●受賞者メモリアル

- 1 「あなたの愛の手を」
神戸空襲を記録する会
- 2 兵庫県学校厚生会/落合重信
- 3 サンテレビ「訪ねてみた兵庫の手づくり」春木一夫
- 4 「兵庫探検」「兵庫史を歩く」
兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座
- 5 「神戸の中堅150社」
神戸新聞淡路局「淡路祭事記」
- 6 「神戸からこんにちは」
「天津からこんにちは」
神楽起郷
- 7 「私たちの昭和史」
- 8 「バルモア病院日記」
スタジオTODAYホットに聴こう!
- 9 「収録港湾労働神戸港」
- 10 「ひょうご経済人1000人」
「火輪の海」
- 11 「メダルは笑顔に輝いた」
神戸新聞「コミ問題取材班」
- 12 「兵庫史を歩く」
「播磨学講座全四巻」
- 13 コウベ・ドラマ8
- 14 神戸新聞コラム「正平調」
- 15 「いのち結んで」三桑社夫
- 16 「イヌワシを追って」山本靖夫
- 17 AM神戸「風を抱け白鷺城」

第23回 井植文化賞 国際交流部門

中国引揚者・残留日本人孤児の援護に尽力

藤岡 重司

ひとつのことをやり遂げることがいかに難しく、また苦しいことか、その経験をした人にはよく判ることである。藤岡重司さんは一九四六年に中国から引き揚げられてから今日まで、一

貫して残留邦人の引き揚げの促進と帰国者支援に献身してこられた。ある時には引き揚げ者の補償実現のために国会前座り込みもされた。帰国者の生活自立の前提となる日本語習得のため

●選考委員
新野 幸次郎
神戸大学名誉教授
宇都宮 浩
兵庫県総務部次長
住野 和子
神戸YMCAクロスカルチュラルセンター
プログラムディレクター



20年以上続く中国帰国者生活相談会。現在は毎週土曜日に兵庫県福祉センターで行われている



ご自身の50年史を綴った「愛情に国境はない」出版祝賀会にて。左は奥様のとよ子さん

に開いた日本語教室も二十一年目になる。念願であった日中友好交流センターも吉林省の力で近く北京市内に「日本人孤児養父母接待所」として開設されることになったといわれる。年中無休で生活相談にも応じてこられた藤岡さんも八十五歳になられる。日本人はいつの間にか生命より大切なものがあることを忘れてしまったと嘆いているジャーナリストがいるが、藤岡さんはその大切なものを追い続けて生きておられる。

〈新野幸次郎〉

■選考経過

昨年に引き続き、千趣留学生奨学財団が候補にあがり、留学生同士の交流の場として毎年ユニークな企画をたて、彼らの支えとなっている点が評価された。

また、震災後、被災外国人が平等に救済されるよう設立され、現在も生活電話相談などの外国人支援活動を行っているNGO外国人救済ネット、東アジア諸国との貿易・経済友好関係、東アジア地域の安定的発展に寄与した社団法人神戸国際貿易促進協会、ベトナム交流の旅やベトナム映画鑑賞会、ベトナム料理講習会などユニークな活動を行う、ベトナムとの民間交流団体日本ベトナム友好協会兵庫県連合会が候補にあげられた。今回受賞の藤岡重司氏は、中国引揚者、残留日本人孤児のため無給・無休で尽力された「日本のお父さん」である。その活動は日中友好のかけ橋となったとして、今回の受賞者が決まった。

●受賞者メモリアル

- 1 加藤 一郎
〈神戸日独協会会長・神戸大学名誉教授〉
- 2 神戸日本赤十字協会
神戸YMCAクロスカルチュラルセンター
留学生ホストファミリープログラム
CHIC
- 3 アルカディア協会
- 4 神戸フータン友好協会
海星病院ボランティア・グループ
桑原泰幸 関西日印文化協会会長
ミニFM局FMわいわい
関西バングラデシュ・プロジェクト
古澤 肇子(神戸日独協会副会長)
- 5 兵庫県外国人学校協議会